

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第106回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第41回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第107回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第106回運営委員会議事録

日 時：2014年 4月28日(月) 18：30－20：40

場 所：日本地球惑星科学連合2014年大会会場422号室

(横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 会議センター)

運営委員：

(出席者)18名

田近 英一，渡邊 誠一郎，倉本 圭，中村 昭子，荒川 政彦，林 祥介，生駒 大洋，並木 則行，井田 茂，
千秋 博紀，はしもと じょーじ，平田 成，荒井 朋子，佐々木 晶，城野 信一，小林 直樹，中本 泰史，
杉田 精司

(欠席者) 5名

(委任状有) 渡部 潤一，永原 裕子，小久保 英一郎，橘 省吾

(委任状無) 藤本 正樹

オブザーバー：

山田 耕(連合大会プログラム委員)

木村 勇気(2014年秋季講演会LOC)

議 題：

1. 会計第12期上期決算

荒井財務専門委員長よりおおむね予算通り執行したとの報告がなされた。自然災害に伴う会費免除の申請者はなし。寄付金10万円があり最優秀発表賞の賞金に充てた。収入増の大きなものは、滞納会員費の納入(40万円増)、支出減の主なものは、遊星人のページ数減少に伴うもの(11万円減)、学会費原稿起こし費(未使用10万円)、秋季講演会事業費(20万円減)など。会費納入のクレジット決算で2回ボタンを押した2名分2万円が前受金となっている。

2. 会計第12期下期予算執行状況報告

荒井財務専門委員長より会計第12期下期予算執行状況が報告された。

Q. 消費税増税の影響は、

A. 今年度に関しては問題ないが、来年度以降は考慮していかなければならない。

3. 財務専門委員の追加

並木則行会員が財務専門委員に選出され、承認された。

4. 第12期上期活動報告ならびに第12期下期活動計画

平田総務専門委員長より活動報告書と計画書について説明がなされた。

月惑星探査育英会月惑星探査データ解析実習会が会計年度終了の後に開催されたことに関して議論が行われた。今回は特例として認め、今後は、各種事業は会計年度内に行うこととする。12月までに行われなかった場合は未開催とし、翌年2回申請を行う等の処理をする。

5. 入退会状況について

平田総務専門委員長より入退会状況について報告がなされた。

6. 学会賞選考委員の入れ替え

平田総務専門委員長より学会賞選考委員会委員の交代について説明がなされ、承認された。継続する委員は、佐伯和人会員(委員長)、小林浩会員(幹事)、杉田精司会員、和田浩二会員。新任の委員は、中村昭子会員、竹内拓会員、竹広真一会員、三河内岳会員。

7. その他総務からの案件

平田総務専門委員長より、第41回総会の議長として山本聡会員、書記として上相真之会員が推薦され、了承された。

8. 遊星人の発行状況

はしもと編集専門委員長より遊星人はつつがなく発行されている旨、報告がなされた。遊星人に他雑誌との二重投稿があり、論文投稿の際に、引用を括弧書きにしたか等の項目にチェックをつけてから投稿するシステムの導入を考えている。

9. 2013年度最優秀研究者賞について

林2013年度学会賞選考委員長より2013年最優秀研究者賞に4名の応募があり、受賞者として奥住聡会員を推薦することが報告された。審査過程と推薦理由の概要が説明され、異議なく承認された。最優秀研究者賞の副賞の金額について議論がなされ、今後1万円以内と決定。

10. 連合関係

永原委員の代理で田近会長から報告がなされた。2014年度日本地球惑星科学連合フェローとして、元会員を含めて惑星科学会員から12名が選出されたことの報告がなされた。中澤清会員が受賞辞退。5月1日に授賞式が行われる。

日本地球惑星科学連合のジャーナルProgress in Earth and Planetary Scienceに関して、宇宙科学セクションの編集長をしている倉本委員より、第1号発行があったと報告された。多数の投稿をお願いしたい。招待論文なら投稿料が無料となる。レビューペーパーを多く期待している。英文校閲機能もあるのでぜひ活用を。来年度以降の連合大会はまた幕張に戻る。パシフィコ横浜はゴールデンウィーク中しか空いてないため。

11. 秋季講演会予稿集について

中村行事部会長より、秋季講演会予稿集がPDF化される件に関し、Web上での保持期限の設定提案がなされた。NIIに掲載されたときに学会サーバーからは消去することとなった。

2016年秋季講演会は岡山大学をLOCとして行われる。はしもと運営委員から状況説明がなされた。会場はまだ検討中。会員数の少ないLOCの際、www-adminをどうするかは今後検討する。

12. 2014年秋季講演会・学会賞実施案等

木村2014年秋季講演会組織委員より、進捗状況と各種日程、会場、収支見込について説明がなされた。会期は2014年9月24日(水) - 26日(金)。東北大学片平さくらホールで開催。1Fがポスター会場、2Fが講演会会場。25日(木)に最優秀研究者賞特別講演および懇親会を行う。懇親会はさくらホール1F。予稿集はPDF化され、事前に学会サーバーで公開。当日参加者分として受付でコピー用のCD-RおよびCDドライブを用意する。会場のネットワークの申請を予定している。学部生、修士1年生の参加料は無料とする。学会が9月であるため、申し込みなどの各種締め切りが早めの設定となっている点に関し、運営委員会から可能な範囲で遅くして

ほしいとの要望がなされた。発表賞のポスター発表時間をしっかり確保するよう要望があった。

13. 2015年秋季講演会について

井田2015年秋季講演会組織委員長より報告がなされた。3月完成予定の東京工業大学ELSI新棟レクチャーホールで開催。机なしで200名ほど収容可。会期は10月とする方向となった。

14. 連合大会プログラム委員からの報告

山田連合大会プログラム委員より、来年度のプログラム委員として、納田明達会員(正)と大宮正士会員(副)が推薦され、異議なく承認された。また、来年度の惑星科学セッションコンビーナとして黒澤耕介会員(正)と濱野景子会員(副)が選出されたとの報告がなされた。(本記載内容の一部は運営委員会後に行われた書面による報告事項も含む。)

15. 学会における小惑星探査の検討状況について

荒川将来計画専門委員長より、継続的小惑星探査実現のためのアクションプランの立案と実行のための活動の報告がなされた。宇宙研と同調して活動し、イプシロン3号機のサイエンス充実のために協力し、増強イプシロンへの要望をしていく。

渡邊委員から宇宙科学・探査ロードマップと各分野の将来計画、国際宇宙探査フォーラムの会合等の報告がなされた。

16. 「来る10年」検討状況の報告

並木将来探査検討グループ長より、ミッションコンセプトの検討状況、「来る10年」のまとめ方針、今後のスケジュールについて報告がなされた。

17. イプシロン搭載宇宙科学ミッションへの提案中月ペネトレーターミッション

小林委員から、理学から提案中のペネトレーターを使うAPPROACHの概要について説明がなされた。6月2日までに提案書の改訂を提出する。サイエンスの定量化と論理化にご協力を。

18. その他

特になし。

◇日本惑星科学会第41回総会議事録

日 時：4月29日(月) 13:00-14:00

場 所：日本地球惑星科学連合2014年大会会場 416号室

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 会議センター

正 会 員：627

定 足 数：63

参加人数：64(議事2時点)、72(議事3.1時点)、71(議事3.2時点)

委 任 状：128通(議長 125, 田近英一会長 1, 渡邊誠一郎会員 1, 林祥介会員 1, 佐々木晶会員 1(欠席のため無効))

1. 開会宣言

平田総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に山本聡会員、書記に上相真之会員が選出された。

3. 議 事

3.1. 第2期上期(2013年度)活動報告

- ・基調報告(田近会長)

2013年度の連合大会と秋期講演会の概要、学会員数の現状、学会誌発行状況、最優秀発表賞(成田会員)・研究者賞(片岡会員)、フロンティアセミナーの開催、等の説明がなされた。また、平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞に諸田会員が推薦され、受賞したことが報告された。

- ・会計報告(荒井財務専門委員長)

おおむね予算通りの執行であったことが報告された。

収入について、滞納分の支払い、寄付金があったことが報告された。

支出について、学会誌、秋期講演会費等の支出減、研究者賞の移管、来年度への繰越額が増額したこと、賃借の現状等が報告された。

- ・会計監査報告(松田・関谷会計監事(代理：山本議長))

収支決済に誤りの無いことが確認された事が報告された。

- ・2013年度最優秀研究者受賞者発表(林学会賞選考委員長)

奥住聡会員が受賞されたことが報告された。

- ・各種専門委員会からの報告

荒川将来計画専門委員長から、イプシロンロケットを用いた小型惑星探査の検討等について現状報告が行われた。

- ・採択

第12期上期活動報告の採択が行われ、賛成: 72, 反対: 0, 保留: 0により採択された。

3.2. 第12期下期(2014年度)活動方針

- ・基本方針(田近会長)

秋期講演会の開催、遊星人の発行、月惑星探査来る10年の検討活動、フロンティアセミナー 2014 (9/2-5, 北海道, 当日配布資料では誤記のため修正)の開催、日本地球惑星科学連合2014年大会の開催、欧文学会誌EPSの発行、最優秀発表賞の受付、最優秀研究者賞の募集などが説明された。

- ・各種専門委員会活動方針

なし

- ・質疑応答

出村会員から日本学術会議がとりまとめる大型計画について、惑星科学会倉本会員のコンソーシアムの提案が採択されたことについて、今後の展開について質問があった。田近会長からその意義、今後について説明があった。

- ・採択

第12期下期活動方針の採択が行われ、賛成: 71, 反対: 0, 保留: 0により採択された。

4. 報告事項

4.1. 2014年秋季講演会について(中村2014年秋季講演会組織委員長)

会期(9/24-26)、一般講演の内容および講演者、総会・懇親会、会場やその周辺の内容、講演受付日程、予稿集の冊子の発行をしないこと、会費、LOC体制、などについて説明がなされた。

4.2. その他

田近会長から、日本地球惑星科学連合フェローへの選出について報告があった。日本惑星科学会関係者としては、現会員として阿部豊、荒牧重雄、小嶋稔、川口淳一郎、中澤清(ただし受賞は辞退)、西田篤弘、丸山茂徳、水谷仁の各氏、元会員として河野長、本藏義守、松井孝典、松本紘の各氏が選出されている。

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会第107回運営委員会議事録

期 間：2014年7月15日(火)～7月22日(火)

議 題：財務専門委員の新任の承認

運営委員会委員：

出席者 23名

田近 英一, 渡邊 誠一郎, 倉本 圭, 中村 昭子, 荒川 政彦, 林 祥介, 生駒 大洋, 渡部 潤一, 並木 則行,
永原 裕子, 井田 茂, 千秋 博紀, はしもと じょーじ, 平田 成, 荒井 朋子, 小久保 英一郎, 藤本 正樹,
橘 省吾, 佐々木 晶, 城野 信一, 小林 直樹, 中本 泰史, 杉田 精司

成立条件：期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法：上記期間内にemailにより投票

議 題. 財務専門委員の新任の承認をお願いしたい

竹広 真一(京大)

議題は賛成多数で承認された(可22, 棄権1).

なお, これに伴って現財務専門委員の並木則行(国立天文台)は退任とする.

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2014年9月25日までに, 賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです. 社名等を掲載し,
敬意と感謝の意を表します. (五十音順)

- ・アメテック株式会社カメカ事業部
- ・株式会社五藤光学研究所
- ・有限会社テラバブ
- ・株式会社ニュートンプレス
- ・フジカット有限会社

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません. 各自でご確認ください.

2014/09

9/24-9/26 日本惑星科学会 秋季講演会

(a)東北大学 片平キャンパス さくらホール, 宮城県仙台市

(b)日本惑星科学会

(c)<https://www.wakusei.jp/meetings/fallmeeting/>

2014/11

11/12-11/14 第42回可視化情報シンポジウム

(a)長崎ブリックホール, 長崎県長崎市

(b)日本航空宇宙学会(日本惑星科学会共催)

(c)<http://www2.nict.go.jp/wireless/spacelab/preciseorbittech/ukaren58/index.html>

11/22-11/24 第55回高圧討論会

(a)徳島大学 常三島キャンパス, 徳島県徳島市

(b)日本高圧学会(日本惑星科学会協賛)

(c)<http://www.highpressure.jp/new/55forum/>